



# 「変わらなきゃ…」

## 大館市行政改革大綱を策定

「よりスリムで分かりやすい行政機構を」というのは行政の命題の一つ。でも、時の流れとともに社会情勢はどんどん複雑化して、行政の行く手を阻むかのよう。このままではムダが多く分かりにくい機構になってしまおうし、ネガティブ(消極的)な行政になってしまう。…変わらなきゃ! というわけで、大館市役所版リストラクチャリングプラン(再構築計画)の登場です。難しい話だと思つて敬遠したりせずに、読んでみてください。キーワードは、

- ▽変化への対応
  - ▽総合性の確保
  - ▽簡素化・効率化の推進
  - ▽信頼性の確保
- この四つです。

地方分権の推進が時代の大きな流れとなっている今日、地方公共団体が果たすべき役割はますます重要になっています。

そんな中、市ではこれまで、いわゆる行政改革の推進に積極的に取り組んできたところですが、現在の地方行政・財政を取り巻く環境は複雑化しており、より簡素で効率的な行政の確立が急務となっています。

市では、あらためてその責務を自覚したうえで社会の変化に即応するため、行政改革大綱を策定しました。大綱では「既存の事務事業の見直し」、「職員定員管理の適

正化」、「地域住民のニーズへの対応」などを掲げています。また、計画期間を平成七年度から十一年度までの五カ年間と定めました。大綱の要旨は次に示すとおりです。この大綱にのっとり、今後更に自主的かつ計画的な地方行政の改革を早期に実行していきたい考えです。ので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 事務事業の見直し

★複雑多様化する行政需要や新たな行政課題に的確に対応できるよう、常に経常経費の節減を図り、財源の確保に努力する。



- ★責任体制を確立し決裁権限の拡大を図り、なお一層、事務処理の迅速化と簡素合理化を図る。
- ★受益と負担の公平確保を原則に法定外の税外手数料、使用料等

の見直しを検討し、財源の増収確保を図る。

- ★会議等をスムーズに行うため、マニュアルの作成を検討する。
- ★なお一層開かれた市政を目指して、情報公開制度の実施について検討する。

★国際規格である文書のA判化も含め、文書管理の見直しを検討する。

- ★市単独補助金については、行政の責任分担、経費負担のあり方等を考慮しながら、昭和58年度に制定した「補助金取扱要綱」に基づき毎年見直しを図る。

★行政運営の効率化、市民サービスの向上等を図るため、事務事業の見直しを実施し、民間に対する外部委託について更に推進する。

- ★市民サービスの向上、事務の簡素化のため、類似施設の使用申し込み窓口の一本化に努める。

★各課に公用車の配車が進んでいる中で、運転業務のあり方について見直しを図る。

- ★許認可等の手続きにおける行政の公平さ・透明性の確保の観点からも行政手続条例を検討する。

★高齢化社会に対応した保健・医療・福祉の連携を図って包括ケアシステムの確立し、市民サービスの向上に努める。

- ★市民の声を直接市政に反映させるため、各種委員会・審議会の委員の選任にあたっては公募制